

令和3年度 保幼小連携講座 保幼小連携講演会

目的	保育所・幼稚園・認定こども園・小学校の教育や生活を互いに学び合い、連携の必要性を把握する。
日時・場所	令和3年8月27日（金）15：00～16：30 オンライン配信
対象	乳幼児教育・保育施設職員・小学校及び義務教育学校職員
演題	幼保小連携接続カリキュラムの位置づけについて
内容	講義
講師	西南学院大学 教授 門田理世 氏

【感想】

- ・保幼小連携のあり方、また接続カリキュラム作成について、理解を深められたと同時に、難しさを感じた。本当に職員同士の交流、連携が重要でしっかりできていないと、真の保幼小連携カリキュラム作成へとつながっていかないのではと思った。
- ・保幼小の接続のあり方、大切さがよく理解できました。小学校との相互理解、施設においては全体での見通しの取組の重要性をわかりやすく学ばせていただきました。
- ・佐世保市の取組の価値の高さを実感し、具体的なデータと分析で説得力のあるご講演でした。接続期の効果的な連携や指導上の視点、目標の共有化の重要性を改めて認識しました。本講演と指針に具体的な取り組みを考えていきたいと思います。
- ・佐世保市の保幼小連携の取組が全国的に見ても進んでいることを大変うれしく思いました。幼児期と学童期のズレを連携を通してフラットにしていくことで、子ども達のより良い力を育むのだと思います。今後も入学前の子どもたちの学びや経験を大切に小学校での学びをつみ重ねていけるよう努めたいと思います。
- ・幼児教育と小学校教育の現場「ねばならない」（独自性）を手放すことは（歩み寄り）、大きなチャレンジだが大切だと思いました。

参加者（合計 117 名）			
保育所	幼稚園	認定こども園	小学校
41	14	32	30

